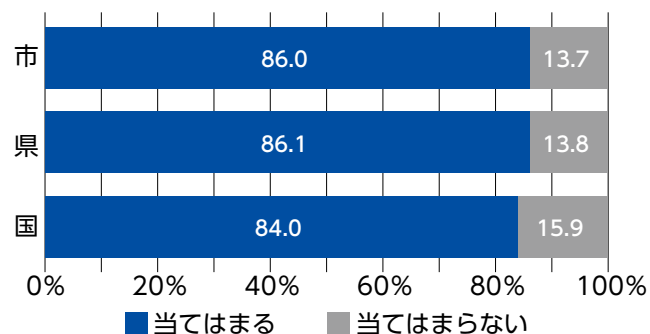
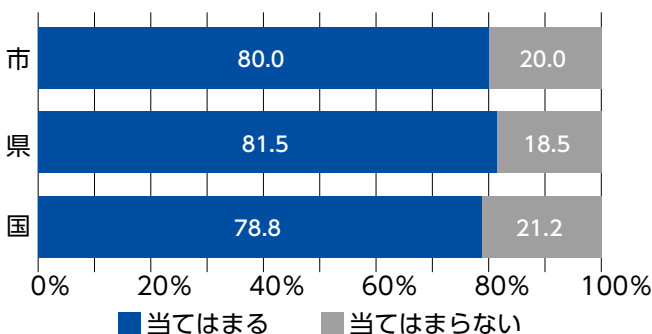


3 自分には、よいところがあると思いますか。

小学6年生



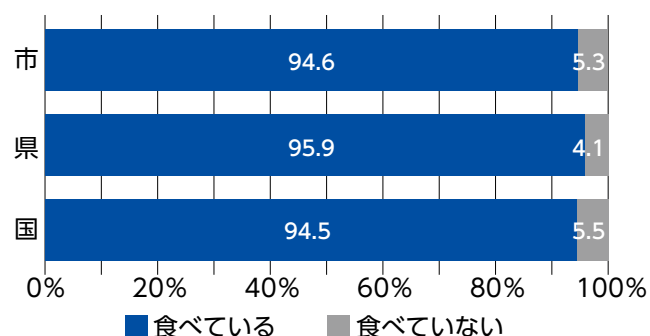
中学3年生



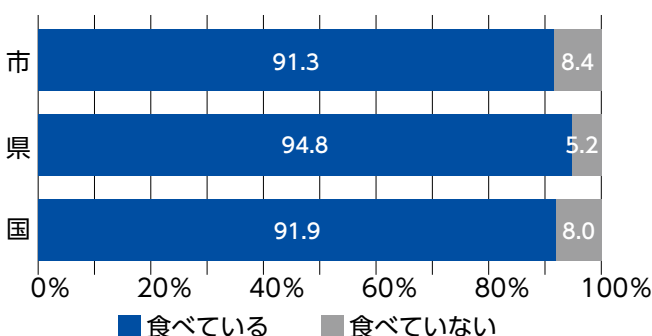
自分のよさを認識することを「自己肯定感」といいます。自己肯定感が高い子どもほど自分の可能性を追い求め、どんどん伸びていきます。逆に自己肯定感が低いと自分に自信がもてず、投げやりになり学力が伸び悩む傾向があります。子どもはほめられることで自分に自信をもち、自己肯定感を高めていきます。家庭や地域で子どもたちのよさを見つけ、どんどんほめてもらいたいと思います。また、子どもたちが安らげる家庭の雰囲気づくりも大切です。

4 朝食を毎日食べていますか。

小学6年生



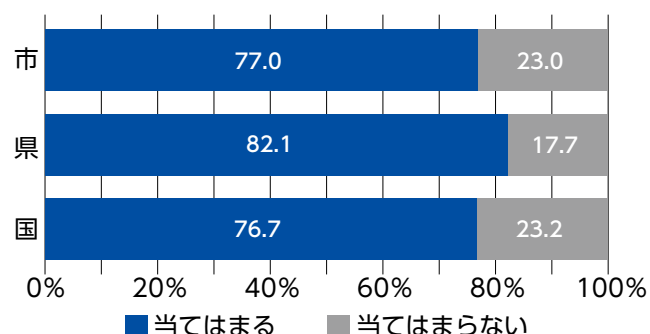
中学3年生



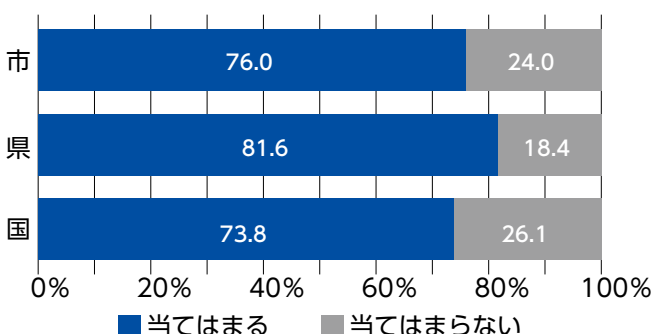
早寝、早起き、朝ごはんは、子どもの学力を高めるためにとても大切な生活習慣です。生活リズムが定まらないと、学校や家庭で集中して学習に専念できなくなります。生活リズムが整わない原因が明確であるなら、生活習慣を改める必要があります。朝食を食べている割合は、全国と同じ水準ですが県平均より若干低い状況です。午前中の脳を働かす大切なエネルギーとなる朝ごはんは、抜くことがないようにしましょう。

5 授業で課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

小学6年生



中学3年生



現代の急速な社会変化の中で生き抜くためには、自ら課題を見つけ自分で考え解決しようとする主体的な学びや、他と協力して解決していく協調性などが重視されます。これらの学びの第一歩が、「自分の考えをもつ」ことです。

学校では、自分の考えを持つ、書く、発表する、話し合う、自分の考えを見直すことなどを授業に取り入れていきます。家庭ですぐに回答を求める子どもに、時にはすぐに答えずに考えさせたり調べさせたりして、自分の力で解決するよう働きかけてみましょう。また、自分の考えをわかりやすく相手に伝えるにはどうすべきかを考えさせることも、子どもを伸ばすには大切なことです。